

報告2 平成30年度 事業計画

1 全体計画

当協会は平成28年8月に観光庁の日本版DMO候補法人として登録され、茨城版DMOの形成確立に向け、国・県からの支援をいただき、人的体制の増強を図ったところです。平成30年度は観光庁に「日本版DMO法人」として登録し、市町村観光協会や観光関連事業者の皆様との一層の連携のもとに、人材育成を図り、地域の「稼ぐ力」を引き出すための具体的な事業を拡大、実施してまいります。

観光振興及び県産品の販売促進の両面において、これまで以上に観光ニーズ等の分析結果を踏まえ、効果的なPR・戦略的な誘客対策に努め、魅力的な新商品開発や営業活動の強化・商談会等直接的な成果につながる販売促進対策を積極的に推進し、国内外から本県へ観光客誘客を促進するとともに、県産品の販売促進・販路拡大を図ってまいります。

2 宣伝誘致

(1) 観光客の誘致

観光キャンペーンにつきましては、引き続き首都圏、北関東、茨城空港の就航先等において、集客性、周知度の向上、誘客促進等十分考慮のうえ、県・市町村・観光関連団体等と連携のうえ、旬な観光情報を広く発信し本県への誘客促進を図ってまいります。

平成30年度も継続事業として「市町村観光客誘客促進支援事業」に取り組み、茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックを見据えるとともに外国人観光客が急増している現状から、市町村観光協会等と連携し首都圏において商談会・エージェント訪問等を実施し、観光客の誘客促進に努めてまいります。

また、いばらきDMOの立場からは、地域の稼ぐ力を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点に立って、観光滞在時間の延長、観光消費の拡大のための仕組みづくりを推進するため、遊びや体験などのアクティビティの発掘・整備、新たな土産品の開発支援とブラッシュアップ・販路拡大などを、関係機関、事業者等と連携して推進してまいります。

(2) 観光情報の発信

効果的な広報媒体であるテレビ・ラジオへ夢ガイド出演による観光PRを行うとともに、ホームページ観光いばらき等を活用した取材・体験等によるディープな観光情報のネット配信にも努めてまいります。

このため、ホームページ観光いばらきを大幅にリニューアルし、コンテンツを強化するとともに、ネット上で予約や県産品購入が可能な機能を付加してまいります。

また、東南アジアを中心に外国人観光客が急増してきている現状から、各国の特色、ニーズを踏まえた外国旅行会社やメディア、訪日外国人取扱旅行会社（ランドオペレータ）等への情報提供に積極的に取り組むとともに、英語、中国語、韓国語、タイ語によるホームページへの旬な観光情報の掲載、また、ブログ等においても本県の魅力ある観光情報を広く発信し、外国人観光客の誘客促進を図ってまいります。

3 県産品の販売促進

平成30年度においては、引き続き大型店の物産展を推進しながら、基幹店となるアンテナショップの底上げを進め県産品のPRを積極的に進めてまいります。

物産展では「イトーヨーカ堂武蔵小杉店」において初開催となる「茨城物産展」を実施するとともに、アンテナショップでは新規アイテムの提案など品揃えの充実を図るべく積極的な営業活動を実施し、県内外に県産品を積極的にPRしてまいります。

また、会員のスキル向上を図るため、SNSを活用した販売促進策や商品開発等の勉強会を実施するとともに、引き続き量販店、商社などのバイヤーとの商談会を開催し販路の拡大に努めてまいります。

また、注目企業の視察・研修会を実施し、新しい情報の収集や異業種間の交流を通じて会員の更なる成長に貢献できるよう努めてまいります。